



市民や職員などの見送りを受けて退任する光武前市長

3期12年終え退任

お疲れ様でした 光武顕前市長

平成七年四月に就任し、三期十二年間、佐世保市政のかじ取り役を務めた光武顕市長が四月二十九日で退任しました。二十七日の退任式では「市民の視点に立った施策を決して忘れることはできない」などと述べました。

退任あいさつ（要旨）

平成七年四月に市長に就任してから十二年間、多くの皆さんのおかげで大過なく過ごすことができました。私が就任したその年は、ちょうど大渇水の余波が残っていて、「何としても二度と市民の皆さんに渇水を経験させてはならない」、そう思って三つの短期対策を実行し、中期的な対策として下の原ダムのかさ上げ事業を計画しました。この事業の完成で、百三十万トンの貯水能力に更に八十六万トンが加わり、市民の皆さんに安心感を与えることができて本当に良かった。



光武顕前市長の主な実績

- 平成7年4月第二十五代市長に就任
- 8年 世界炎博開催・三川内うつわ歴史館開館▶広田地区公民館設置
- 9年 中央卸売市場新水産市場開場▶水道の南北融通配水施設完成
- 10年 新返還6項目決議▶佐世保みなとIC、西海パールライン開通
- 12年 長崎国際大学開学
- 13年 アルカスSASEBO、男女共同参画推進センター（スピカ）開館▶新東部クリーンセンター完成▶日野中学校、祇園小学校創設
- 14年 市制百周年記念事業開催
- 15年 幼児教育センター開設▶佐世保テクノパーク完売
- 16年 新返還6項目のうち3項目が返還基本合意▶山澄地区公民館設置▶環境省エコツーリズム推進モデル地区の指定▶駅周辺土地区画整理事業完成▶清水小学校創設
- 17年 吉井町・世知原町との合併▶新返還6項目のうち1項目が返還完了▶市民協働推進指針策定▶家庭ごみの有料化制度開始▶エコスパ佐世保、東部保健福祉センター開設
- 18年 宇久町・小佐々町との合併▶食育推進計画策定▶生後6カ月から小学生までのインフルエンザ予防接種費用の助成▶子ども子育て応援センター設置▶市道山祇黒髪町線全線開通▶清水小学校新校舎完成
- 19年 中央卸売市場新青果市場開場▶下の原ダムかさ上げ工事竣工

「市民第一主義」

朝長則男市長が 就任式であいさつ

四月二十二日に行われた佐世保市長選挙で当選した朝長則男市長が、五月一日に市役所へ初登庁しました。同日の就任式で朝長市長は「市民の皆さんに役立つ、市民第一主義の元気の市役所にしていこう」と述べました。

就任あいさつ（要旨）

私は、「市民第一主義」の考え方を基調に、明るく、豊かで、安心・安全な住みやすい、市民誰もが誇りを持てる佐世保市を市民の皆さんと共に創り上げたいと思います。そのために、
一、行財政改革を推進し、健全な財政運営を図ると共に、多様化する市民サービスの向上に努めます。
一、佐世保市が持つ特性や可能性を引き出す産業振興を図り、雇用の拡大と市民所得の向上を目指します。
一、高齢者、障がい者、そして子ども



職員を前に就任あいさつをする朝長市長

朝長則男市長のプロフィール

- 生年月日 昭和24年2月12日生まれ
- 本籍地 長崎県
- 住所 佐世保市高梨町2番5号
- 学歴 県立佐世保南高校を卒業。昭和46年青山学院大学経済学部卒業
- 経歴 ▶昭和46年2月医療法人白十字会、同48年5月社会福祉法人佐世保白寿会、同53年8月有限会社トーコー（以上3法人とも平成19年4月に退任）
▶昭和62年5月佐世保市議会議員（平成6年2月まで）
▶平成6年2月県議会議員、以後4期13年（同16年6月から17年7月まで県議会副議長）

や子育て中の親に配慮した政策を充実していきます。

一、教育、スポーツ、文化、保健、福祉の充実を図り、心身共に元気な佐世保人をつくり出します。
一、生活道路となる交通網整備や交通渋滞解消のための施策を推進します。
一、合併四町をはじめ、周辺地域の振興を図ります。
一、石木ダム建設促進などによる水源の確保を図ります。
一、安心・安全な国際交流都市を目指します。
一、日米安保条約を順守し、市民の安心・安全を基調に、基地問題や陸上海上自衛隊の施設整備などに積極的に対応します。

以上を重点政策とし、第六次総合計画との整合性を保ちながら実施に移します。

今回の市長選挙で、私はローカルマニフェスト（政策目標を具体的に示した公約）を提示しました。このマニ

たと思っています。

平成十年には、療育・子育て支援施設「子ども発達センター」を市民と一体となって創設しました。創設前には、タレント養成所をつくる話もありましたが、子育て支援を受けたい親御さんの大変な苦悩などを考えると、そうした皆さんの気持ちに込めるのが市長としての道ではないかと考え、同センターの創設に至りました。センターの開設後には、全国からたくさんの方が見学にきましたし、県北でただ一つの療育・子育ての拠点として、皆さんのお役に立てたということが大変嬉しく思っています。また、平成十三年には「教育を考える市民会議」を立ち上げ、そこで数多くの提言を受けました。その一つ一つを実行に移しながら、特に少人数指導支援事業、特色ある学校づくり対策事業などへの予算配分に努めました。この一月にあった小学五年生の国語、算数の基礎学力調査では、県下十三市中、本市

フェストは市民の皆さんと市長の契約です。その実現には、最大限の努力をしていかなければなりません。固定観念を打破し、職員の皆さんの英知を集めれば、そして、市民第一主義の認識に立てば、必ずや実現できると信じています。

市民の皆さんに役立つ、市民第一主義の元気の市役所を職員の皆さんと共に創り上げたいと思います。

私の座右の銘は「敬天愛人」、天を敬い、人を愛することです。そして市政を担当する市長としての政治姿勢は、清潔で公正・公平・公開。そして「政策に厳しく、人にやさしく」がモットーです。

私は「佐世保が好きです」。佐世保が好きだから、この佐世保を明るく豊かな、住みやすい街にしたいという一心で、市長になりました。市民の皆さんと共に、そして職員の皆さんと共に新しい佐世保を創り上げることをお約束します。

がトップであったという報告を受けました。これは教育委員会や各学校の大変な努力の結果であると思いますが、何と言いましてもこの市民会議でいろんな議論をしたことが、施策として実ったものであると思います。このように、市民の視点に立った施策を、私は決して忘れることができません。

前畑弾薬庫の移転・返還については、関連する針尾島弾薬集積所の整備に係る国の基本的な考え方が示され、問題の解決に向けて着実な道筋をつけることができました。

これから地方は難しい時代を迎えます。職員一人一人が常に襟を正し、将来に使命感を持つて事にあたり、市政が一步も後退することのないように力を出し切ってもらいたい。最後にその言葉を皆さんに申し上げ、私のお別れの言葉といたします。本当に十二年間、皆さんありがとうございました。